

時こくと時間のもとめ方を考えよう① (教科書 27~29 ページ)

めあて 時こくと時間のちがいを考えよう。

☆めあてについて

- ・時刻と時間は、混同して使ってしまうがちですが、それぞれ違うものを表しています。違いを抑え、混同してしまわないように以上のめあてを設定しました。
- ・本単元では、まず時刻と時間の違いを抑え、時刻や時間の計算を学習します。最後に「秒」の概念まで抑えて終了となります。
- ・時刻と時間については、生活の中で自然と覚えていくものですので、この単元の中で理解が不十分でも、さほど問題はありません。ご家庭の生活の中で、ぜひ時計を意識的に活用して頂ければと思います。

！① 時こくと時間のちがいを はっきりさせましょう。(27 ページ)

- ・「時刻」は、「9時15分」「10時30分」などを指します(静的なもの)。
- ・対して「時間」は、「何時から何時まで」の「間」を指します(動的なもの)。
- ・生活と密着させて考えさせると、定着が早いです(ご飯を食べている時間、起きる時刻など)。

?① 次の文は時こくでしょうか。時間でしょうか。

- ㉒ いえを「8時30分」に出る。 → (時こく)
- ㉓ いえからバスまで「15分」かかる。 → (時間)
- ㉔ 1時間目は「9時45分」におわる。 → (時こく)
- ㉕ ともだちといっしょに「50分」遊んだ。 → (時間)

?② 時こくや時間をきろくしましょう。

- ・今の時刻、朝起きた時刻、ご飯を食べていた時間(朝昼晩どれでも可)を記録します。
- ・ご家庭にある時計がデジタル時計の場合は、その数字を記入させてあげてください。
(※この学習のためにアナログ時計を購入して頂く必要はございません。)



「時間」は目に見えない概念ですので、
少々難しく感じる傾向にあります。
生活の中で少しずつ定着を図ることができれば、と思います。

時こくと時間のもとめ方を考えよう② (教科書 28~29 ページ)

めあて 時こくと時間を求められるようになろう。

☆めあてについて

- ・ある時刻から一定時間後の時刻や、2つの時刻の間の時間を求められるようにすることが目標です。
- ・間違えやすい例として、9時50分の30分後を、9時80分と答えてしまう、などが考えられます。
- ・長い針が12を跨ぐ際の感覚を、時計と数直線を使って視覚的に捉えることで対策していきます。

!① 教科書 28 ページの問題をときましょう。

- ・答えは「9時10分」となります。
- ・「時計で考えよう」では、短い針は既に記入しております。長い針を記入させ、どのくらい動いたかを視覚的に捉えさせてあげてください。
- ・長い針が12を跨ぐ際は、一度ぴったりの時間（この場合、9時ちょうど）にしてから考えるとわかりやすくなります（ゆえに、20分と10分で分けて考えさせています）。

!② 教科書 29 ページの問題をときましょう。

- ・答えは「20分」となります。
- ・こちらの問題では、時刻をもとに、経過した時間を求めます。
- ・!①と同様に、長い針が12を跨ぎます。一度ぴったりの時間にして考えさせています。



放課後の遊びや、普通の学校生活などで、時刻や時間には既になじみがあると思います。勉強勉強!ではなく、生活の一環と捉えて自然と定着していくのが理想形なのかな、と感じています。

時こくと時間のもとめ方を考えよう③ (教科書 30~31 ページ)

めあて 時こくと時間を求められるようになろう。その②

☆めあてについて

- ・②のプリント同様、時刻と時間の計算になります。
- ・時間をさかのぼる計算、時間の和を考える計算など、前回と比べると発展的な問題が多くなります。
- ・少々難しくなっても、焦らずに時計や数直線で確実に考え方を身に着けることが大切です。

！① 教科書 30 ページの問題をときましょう。

- ・答えは「10時40分」となります。
- ・やはりこの問題でも、一度「ぴったり」の時間にしてから考えるとわかりやすくなります。
- ・問題文自体は「何分前の時刻を求めましょう」とは書かれておらず、文章をよく読まないで解けない問題になっています。文章題攻略のコツは、「この問題は何が聞きたいのか?」をはっきりさせることです。

！② 教科書 31 ページの問題をときましょう。

- ・答えは「1時間10分」となります。
- ・単純に計算すると「70分」であり、それ自体は正しいのですが、聞かれているのは「何時間何分」ですので、60分と10分に分けて、1時間と10分、と考えるとよいです。
- ・ここも文章題攻略のコツ「何が聞きたいのか?」を問うことが大切です。

計算自体はシンプルですが、文章問題ですので、「何を聞いているか」がわからないと、せっかく答えが合っても、×になってしまうことがしばしばあります…。

(本当は我々も丸を付けてあげたいのですが…)

ですが、題意を把握して、聞かれていることに正確に答えるという力は、算数のみならず他教科、日常生活においても非常に重要です。小さな積み重ねを大切にしていきます。

私も文章題には
小・中・高・大と
全て悩まされた…。



時こくと時間のもとめ方を考えよう④ (教科書 32 ページ)

めあて 「秒」について知ろう。

☆めあてについて

- ・新たな時間の単位である「秒」について学習します。
- ・未習とはいえ、秒については知っている子がほとんどであると思われます。ここでは、分と秒の単位関係を理解することが大きな目標となっています。

?①「秒」とはなんだろう。

- ・「秒」の概念を学習します。
- ・教科書では、短い時間を計る道具としてストップウォッチを紹介しています。秒の学習は、ストップウォッチを使うと良い効果が期待できます。もしご用意があるようでしたら、使用することをおすすめします (スマートフォンに搭載されているストップウォッチ等でも問題ありません)。

!①教科書の問題^{もんだい}にちょうせんしましょう。

- ・答えはそれぞれ、「1分20秒」「120秒」です。
- ・分と秒の単位関係を学習します。
- ・これも今までの学習同様、「ぴったり」の時間に合わせてから考えるとわかりやすいです。
- ・「60秒=1分」が身につけていないと、少々難しく感じるかもしれません。秒の概念を確実にした上で、問題に取り組んでいただければと思います。

☆以下は、教科書32、33ページの問題の解答です。

32ページ

- ⑦ 20 ①25
1 1分20秒、120秒
4 ①分 ②秒 ③時間

33ページ たしかめよう

- 1 50分後：3時10分 50分前：1時30分
2 50分
3 1, 40 1, 30
4 ①分 ②秒 ③時間 ④分

以上で「時刻と時間」の単元は終了となります。
時刻や時間を求めることよりも、単位関係がわからずにつまずいてしまうことが予想されます。
わからないところについては、プリントや教科書で復習するようにお声がけ頂ければと思います。

ご協力、
ありがとう
ございます。

